

2019年2月27日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

ラグビーワールドカップ 2019 開催記念。日本ラグビーのレジェンドを振り返る 笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』

第81回 堀越 慈 氏

(日本ラグビーのプロ化に尽力し、ワールドカップ日本開催の道筋をつけた元日本代表ラグーマン)

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区赤坂 理事長:渡邊一利 以下:SSF)は、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々にお話を伺い、スポーツの価値や意義を検証、あるべきスポーツの未来について考えるスペシャルサイト「スポーツ歴史の検証」を連載しております。本年度は日本のラグビーを支えてきた人びとをテーマにお送りします。

今回ご登場いただいたのは、1968年オールブラックス・ジュニア戦の歴史的勝利に貢献した元日本代表・堀越 慈氏です。現役引退後は指導者、解説者、日本ラグビーフットボール協会理事、ワールドラグビー常任理事として日本ラグビーに携わってきた堀越 慈氏に、日本ラグビーの歩んできた道のりやラグビーワールドカップ 2019への期待、ラグビー・スピリットについてなどを伺いました。

インタビュアーには産経新聞特別記者兼論説委員の佐野慎輔氏をお迎えし、意義深いお話を引き出していただきました。SSF ウェブサイトでの公開詳細は以下のとおりです。ぜひともご覧ください。

『「ラグビー・スピリット」の浸透で ラグビーを文化に』 堀越 慈 氏

【公開日時】2019年2月27日(水) 10:00 一斉公開

【URL】<http://www.ssf.or.jp/ssf/tabid/813/pdid/278/Default.aspx>

スポーツ歴史の検証 で検索ください!

【主な内容】ラグビールーツ校での本格的デビュー/歴史的快挙が生まれた3つの要因/イギリスで感じた「ラグビー経験者」であるメリット/ラグビーワールドカップ開催決定の背景/ほか



《プロフィール》

堀越 慈 (ほりこし めぐみ) 氏

1941年、東京都生まれ。慶應義塾大学ラグビー部でロックとして活躍。卒業後は「エーコンクラブ」に所属し、1968年のニュージーランド遠征日本代表に選出される。現役引退後は監督、解説者としてラグビーに携わり、日本ラグビーフットボール協会理事、ワールドラグビー常任理事に就任。

佐野 慎輔 (さの しんすけ) 氏

1954年生まれ。産業経済新聞社特別記者兼論説委員、SSF理事。スポーツ記者を30年以上経験し、日本オリンピックアカデミー理事、野球殿堂競技者表彰委員を務める。

<スポーツ歴史の検証>概要

【企画制作】公益財団法人 笹川スポーツ財団

【後援】スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本スポーツ協会、
公益財団法人日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス

この件に関するお問合せ先
笹川スポーツ財団 経営企画グループ: 古坂 (ふるさか)
TEL: 03-6229-5300 info@ssf.or.jp